

第31回 お茶の水女子大学日本語文化学会プログラム

2005年11月26日(土)午後1時30分開会

◎ポスター発表 午後2時～2時45分

「共生日本語教育実習を実習生はどのように経験するのか—内省レポートにもとづいて—」

岡村郁子、清水寿子(お茶の水女子大学大学院生)、古市由美子(フェリス女学院大学)

「多言語多文化共生日本語教育実習における実習生の意味づけ—実習生の「語り」を通して—」

古市由美子(フェリス女学院大学)

「教師の成長を目指す日本語教育実習設計に関する基礎的研究—教師の意思決定の観点から—」

池田広子(お茶の水女子大学大学院生)

「地域の『対話的問題提起学習』の実証的研究—非母語話者の問題提起場面に注目して—」

半原芳子(お茶の水女子大学大学院生)

「多言語多文化共生の教育実習における非母語話者教師の意思決定」

申愛子(お茶の水女子大学大学院生)

「教育実習を通して共生言語のイメージはどう変わるか—PAC分析による検証」

影山陽子(日本女子体育大学)

「依頼会話の日中対照研究—継続依頼を中心に」

張穎(お茶の水女子大学大学院生)

「異文化間接触で語られる体験談—日本語母語話者の働きかけとその役割を中心に—」

鈴木伸子(アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)

「イニシアチブ・レスポンス分析の課題と可能性—日本語の会話に適用する場合—」

岩田夏穂(日本大学)

「初・中級の日本語学習者を対象としたPCリテラシー授業の試み」

徳永あかね(神田外語大学留学生別科)

「ある幼少来日児童を対象とする日本語指導—『読み聞かせ』『LEA(言語体験アプローチ)』『リライト文』を組み合わせた指導法とその卒業—」

滑川恵理子(横浜国立大学大学院生)

◎研究発表 午後3時～5時10分

<第1分科会> 司会：原みずほ

「日本語学習者と母語話者のe-mailを使用した作文活動におけるフィードバック—協働的作文活動の可能性—」

田淵七海子(お茶の水女子大学大学院生)

「補習授業校における国際児にとっての日本語教育のあり方を考える—ドイツの補習授業校での実践から—」

奥村三菜子(東京学芸大学大学院生)

「インタビューテストとグループテストにおける対話者の支援的発話の比較」

堀川有美(お茶の水女子大学大学院生)

<第2分科会> 司会：高崎三千代

「中東地域の日本語教師たちの感じる困難」

小熊利江(元セッター・オクトーバー観光学園大学)

「タイ語母語話者の日本語アクセント習得における『意識』の役割」

スリボンパイブーン・ユパカー(政策研究大学院大学大学院生)

「日本語学習者同士が読解過程を共有することの説明文理解への影響—個人読みとペア読みの比較—」

伊東あゆみ(お茶の水女子大学大学院生)

<第3分科会> 司会：古市由美子

「多文化共生指向の日本語教育実習におけるティーチャー・コミュニティ構築の過程」

平野美恵子(お茶の水女子大学)

「日本語非母語話者と母語話者を触媒する実習生のストラテジー」

木村美希(お茶の水女子大学)

「台湾と日本の女子大生同士における初対面会話の対照研究—話題選択について—」

張瑜珊(お茶の水女子大学大学院生)

<第4分科会> 司会：菅谷奈津恵

「文法学習に関する信念・態度・ストラテジーと学習成果」

向山陽子(お茶の水女子大学)

「韓国人学習者による日本語の授受補助動詞習得—学習環境と日本語能力が及ぼす影響を中心に—」

尹喜貞(お茶の水女子大学大学院生)

「読解において推測を伴う外的支援は付随的語彙学習を促進するか—多肢選択語注と単一語注の比較—」

徳田恵(お茶の水女子大学)

◆ 第31回日本語文化学会運営協力者(敬称略)

張瑜珊、清田淳子、菅谷奈津恵、佐藤真紀、原みずほ、高崎三千代、高橋織恵、石井怜子、高橋薫、穆紅、孫愛維、尹喜貞、李佳盈、伊東あゆみ、白以然、徳田恵、石井佐智子、宇津木奈美子、岡村郁子、菅野綾、金春梅、劉娜、小浦方理恵、清水寿子、申愛子、TRUONG THUY LAN、宝田恵利、徳間望、野原ゆかり、ナイダン パヤルマ